

校長室から『愛と自由と誠心と』

静岡県立沼津聴覚特別支援学校のホームページを御覧いただきありがとうございます。
ございます。校長の高橋潤子です。どうぞよろしくお願いいたします。

今回は、本校の校訓、『愛と自由と誠心を』についてお伝えさせていただきます。

校訓の『愛と自由と誠心と』は、昭和48年11月28日に制定された校歌の歌詞にも選ばれており、文豪・井上靖先生に作詩をしていただいたものです。

今年3月の高等部卒業式にて、卒業生への応援の気持ちも込めて式辞で伝えました。

『愛』とは、周囲の人々を慈しむとともに、かけがえのない自分自身を大切にすることです。

『自由』とは、溢れる情報に流されず、自ら考え選択した道に責任を持つ強さです。

そして『誠心』とは、どのような場所にあっても、誠実に人と向き合い、感謝を忘れない心のことです。

この三つの精神は、皆さんが未来を切り拓き、変化の激しい社会をしっかりと生き抜くための、確かな土台となります。

未来を切り拓く力とは、単に知識を身に付けることではありません。周囲と協力し、自ら考え、一歩踏み出す勇気のことです。皆さんはこの三年間、日々の学習や行事を通じて、その力を確実に育んできました。

社会に出れば、壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時こそ、この学び舎で得た自信と、校訓に込められた『誠心』を胸に、一歩ずつ前へ進んでください。皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。

本校は、0歳から18歳までのお子さんが通う学校です。それぞれの年齢に応じた『愛と自由と誠心と』を育んでいきたい、そのような思いを胸に、これからの1年間も教職員一同、歩みを進めてまいります。

令和8年5月 静岡県立沼津聴覚特別支援学校 校長 高橋潤子